




～8月に園内で発生した感染症～

- ・ヘルパンギーナ
- ・手足口病 **流行中!**
- ・溶連菌感染症
- ・マイコプラズマ



子どもの誤飲したもの別
緊急度

非常に多い誤飲事故。飲んだものによって緊急度が異なります。

	すぐに 救急車!	*灯油 *ベンジン *除光液 *農薬 *殺虫剤 *ネズミ駆除剤
	急いで 受診	*ボタン電池 *鋭利なもの *磁石 *洗剤 *タバコ *薬 *コイン *おもちゃ など
	様子を見て 診療時間内に 受診	*少量のインク *クレヨン *絵の具 *化粧品 *石けん など

基本的には吐かせず、受診する際には誤飲したものと同じものを持参しましょう。
ただし、呼吸が苦しそうだったり、顔色が悪い、けいれんなどの症状があれば、飲んだものに限らず救急要請してください。

誤飲は、子どもに多い事故です。何でも口に入れてしまう未満児は、より注意が必要です。宮保育園にも0歳の赤ちゃんが新たに入園し、0～6歳の幅広い年齢のお子さんをお預かりしているので、日頃から食事やおもちゃ等、環境に配慮しています。園では、**チャイルドマウス**（誤飲を防ぐための目安になるもので、チャイルドマウスを通過するものは誤飲の危険があります）を利用し、各クラスで年齢に合ったおもちゃを提供しています。延長時間等、異年齢で過ごす時にも気を付けています。ご家庭でも、手の届く所に危険なものがないかや、遊ぶおもちゃをチェックしてみてください。

母子手帳の最後の方にチャイルドマウスのページがあります。

簡単に作れるので、利用してみてください。

(ラップの芯やトイレットペーパーの芯でも代用できます)

身近な物に意外と危険が潜んでいます。

飲んだら危険! 毎年ワースト1は、たばこです。

小さなおもちゃや部品、ボタン電池、お金(コイン)、化粧品、医薬品等、子どもが誤飲しやすい物は色々あります。未満児のお子さんには、チャイルドマウスをお配りするので、ぜひお試し下さい。

